

最近の活動状況報告

【ベトナム国ハイフォン市】
製造業の技術力・経営力
向上ノウハウ移転プログラム



2015年11月25日

(公財) 北九州国際技術協力協会
技術協力部

1. 経緯

平成23年度にスタートしたJICA草の根技術協力事業「ベトナム国ハイフォン市製造業の工場管理能力向上プログラム」の活動は高く評価されましたが、3年間という期間ではまだ十分な成果を出しきれていないとはいいがたいことから、これまでの成果を確かなものとして定着させるため、第Ⅱ期として更にプロジェクトを継続実施することが決定し、平成27年度が最終年となります。

第Ⅱ期プロジェクトのコンセプト

1) PM事業の活動

生産マネージメント人材育成プログラム

ベトナムが工業立国として発展するために、工場管理技術を習得した人材の育成を支援

【HPIVC教員の研修】
(ハイフォン工業職業短期大学)

【新講座開設・正規必修科目化】
工場管理・運営が理解できる人材の育成
(品質・コスト・納期)

2) PE事業の活動

プラントエンジニアリング力向上プログラム

ハイフォン市企業の抱える問題点の整理と解決策の指導

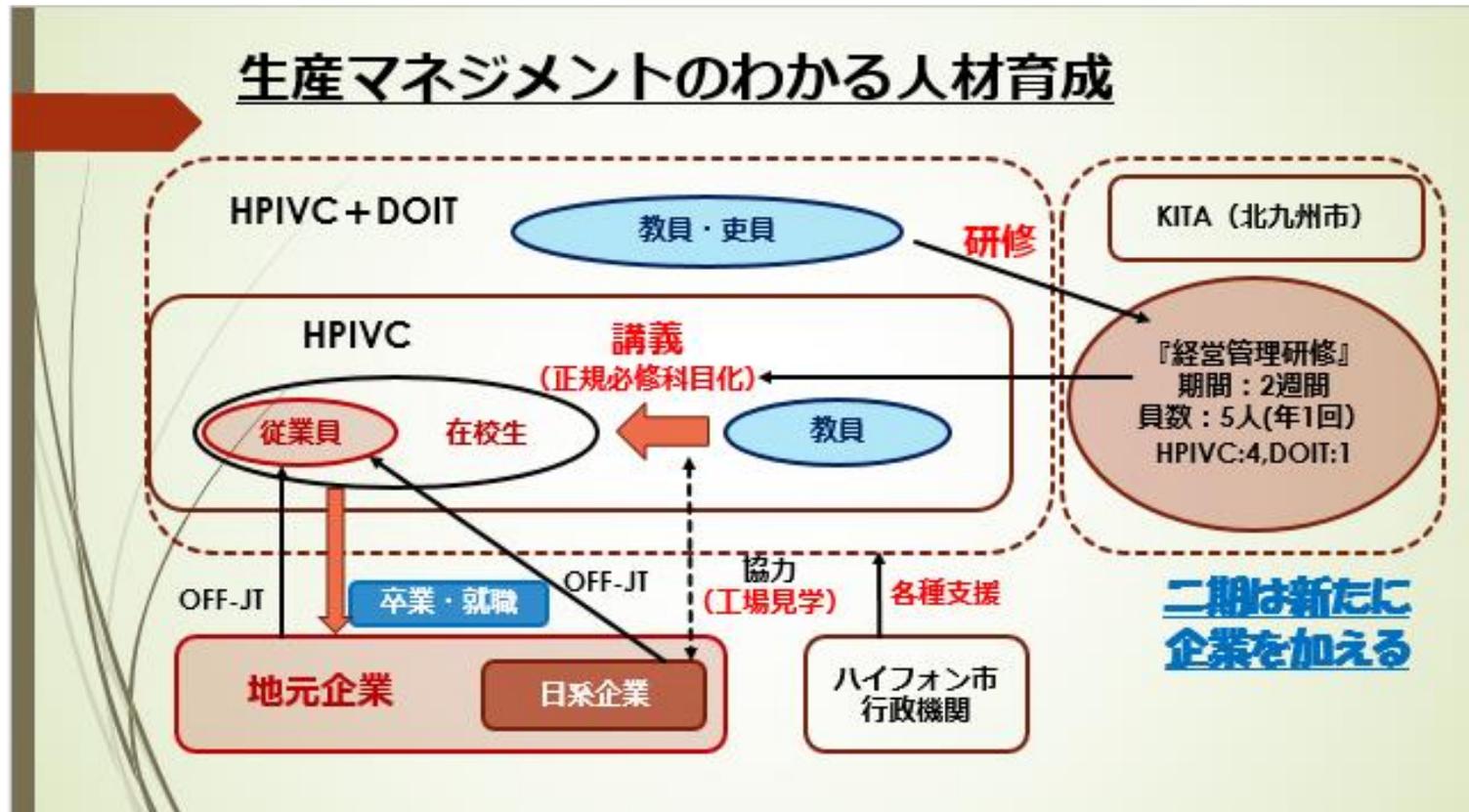
【HPIVCの活用】
(ハイフォン工業職業短期大学)

【5Sの重点的推進】
(整理、整頓、清掃、清潔、躰)

2. PM事業の活動状況

2-1. HPIVC教員および代表的企業経営者・商工局職員の日研修

上記教師と職員・代表的企業経営者を北九州に招聘し、研修実施後にはHPIVC在校生・地元企業中間管理職対象に講義を行い、生産マネジメントに長けた人材を育成することを目指します。



2-2. 訪日研修内容

- 1) 研修名: ハイフォン市製造業の技術力・経営力向上ノウハウ移転プログラム
- 2) 研修期間: 平成27年7月27日～平成27年8月7日
- 3) 研修生: 7名(内訳) ①ハイフォン工業職業短期大学 教員3名
②ハイフォン市商工局 職員2名
③ハイフォン市地場企業 経営幹部2名
- 4) スケジュール

日付	研修内容	日付	研修内容
7月27日	・ブリーフィング ・北九州市等表敬訪問	8月3日	講義 企業研修 ・人事・労務管理 ・戸畑製作所
7月28日	講義 企業研修 ・経営戦略 ・タカミヤ	8月4日	講義 企業研修 ・財務・会計 ・TOTO
7月29日	講義 企業研修 ・マーケティング・商品企画 ・戸畑ターレット	8月5日	講義 企業研修 ・環境保全・労働安全 ・エコタウン
7月30日	講義 企業研修 ・生産管理 ・九州職業能力開発 大学校	8月6日	講義 企業研修 ・ビジネスマナー ・中小企業支援センター ・九州機械工業振興会
7月31日	講義 企業研修 ・購買・外注管理 ・吉川工業	8月7日	・アクションプラン発表会 ・修了式

2-3. 北九州マイスターによるHPIVC教員への技能向上支援

ベトナムの技能検定制度を導入するための教員の実技能力向上が求められており、北九州マイスター(旋盤加工)による技能向上を支援

本プロジェクト終了までに、教員は日本の技能検定2級以上の到達を目指す。

北九州市ホームページより引用

HPIVC教員の技能向上指導として機械加工のマイスター(生野保幸氏)を派遣。

同氏は、入社以来一環として、治具・ゲージ・金型などの製作及び改善、開発業務に携わり特に旋盤加工においては、一級技能士全国技能競技大会に福岡県代表として出場し、大会会長賞を受賞するなど、社外でもその技能に対する評価は高く、現在では特級技能士として後進の指導に当たっている。

マイスター制度の概要



北九州マイスターとは

北九州市は、官宮八幡製鉄所の操業開始以来、100年を超える「モノづくり」の実績を重ねて発展してきた都市です。

わが国の産業界をリードしてきた高度な技術と卓越した技能は、さまざまな分野で活躍する熟練技能者たちによって、いまも脈々と受け継がれています。

北九州市は、「北九州マイスター」制度を創設し、「モノづくり」に関わる高度技能者を「北九州マイスター」として認定し、表彰しています。さらに、これらの貴重な技能を次代に継承し、地域産業の振興に貢献するための活動を支援しています。



2-4. HPIVC旋盤切削実習の教員指導

HPIVC : ハイフォン工業職業短期大学)

訪問日		実習指導内容
2015/9/8 ～ 2015/9/9	生野マイスター 吉村先生 北田CL	①構成刃先について指導 ②旋盤:機械精度のチェック ③フライス盤指導
2015/9/10 ～ 2015/9/11	生野マイスター 吉村先生 北田CL	・3級課題評価と個人指導
2015/9/11	北田CL	・品質管理につて講演 ・出席者:HPIVC機械科・電気科の教員30名



北九州マイスター生野氏による切削加工指導



3級課題評価と個人指導



北田コースリーダーによる品質管理についての講演会

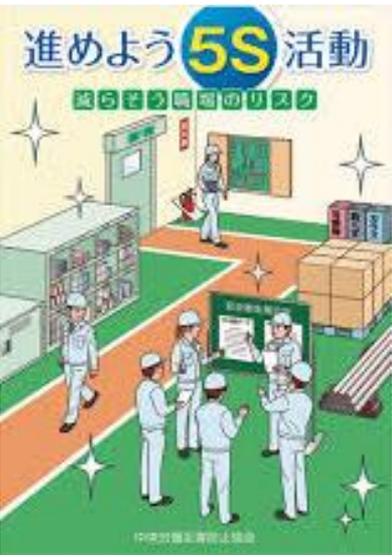
3. PE事業の活動状況

3-1. 生産活動の基本となる5S指導

《プロジェクト終了後のHPIVCの自立化を目指して活動中》

- ・HPIVCにおける5S指導員を2名増加し、企業診断に同行し専門化として育成。
- ・HPIVC独自で現在2社の5S長期指導の取り組み。

5S画像検索より引用



進めよう 5S 活動
整理 整頓 清掃 清潔 躰

中興対策室 企画課

「5S」の概念



ここからはじめる「5S」の基本

整理	思いきって捨てる 要るものと要らないものを分けて、いらぬものを捨てる
整頓	安全性や美観も考慮 必要なものをいつでも誰でも取りだせるように
清掃	隅や裏まで手を抜かず ホウキとゾウキンで、掃き拭きをきれいに
清潔	きれいな状態を維持 上記3Sが乱れたら、もとの状態に戻す
躰	管理者の率先垂範で 妥協せず、あきらめず。「しつける」ことは「叱る」こと

3-2. 直近のベトナム現地企業の工場診断状況

訪問日	企業名	訪問者	工場視察
2015/9/9	Phuong Anh	生野マイスター 吉村先生 北田CL	<ul style="list-style-type: none"> ・5Sが全く実施されておらず評価できず。 ・HPIVCの5S指導を受けることが決定。
2015/9/10	Phuong Lan (第二工場)	生野マイスター 吉村先生 北田CL	<ul style="list-style-type: none"> ・5S導入状況を採点 平均4.4(合格) ・指導内容①直置き禁止の徹底 ②朝礼、体操の奨励
2015/9/10	Duc Thinh	生野マイスター 吉村先生 北田CL	<ul style="list-style-type: none"> ・5S導入状況を採点 平均3.5(合格) ・指導内容①工程(流れ)が分かりづらい ②整頓が不十分(表示の徹底など)



4. 北九州企業とハフオン市企業との技術交流会の開催(第2回)

技術協力部 部長専門員 宮田 利勝

北九州市と姉妹都市ベトナム・ハイフォン市において、本年11月11日・12日の2日間、昨年引き続き「第2回技術交流会」が開催されました。

本交流会は現在北九州市とKITAが実施している「ハイフォン市製造業の技術力・経営力向上ノウハウ移転プログラム（JICA草の根技術協力事業）」の一環として開催されたもので、本事業で技術力・経営管理能力を向上させた現地企業と、加えて広くベトナム企業との技術・ビジネス交流を図るものです。



ハイフォン市
フォン商工局長の挨拶



北九州市
西田産業経済局長の挨拶



「5S」優秀企業の表彰

北九州側からは金属加工、機械製造、計測機器、環境設備、食品（ベビー用食品、寿司）、自動車整備教育など幅広い分野の13社が出展、ハイフォン側からは製造業3社の出展とハイフォンはじめベトナム各地から68社の参加がありました。来場者は700人を数え、昨年をも上回る熱のこもった交流が行われました。

2日目にはハイフォン市人民委員会ソン副議長の会場視察もあって、本交流会への同市の関心の高さが強く感じられました。



出展企業からの技術・商品紹介の様子
北九州企業12社、ハイフォン企業2社
からプレゼンテーションがあった



会場では随所で活発な技術・ビジネス交流が行われた



ハイフォン市人民委員会 ソン副議長
(右から2人目)の会場視察の様子

本交流会の開会式の中で、北九州市の西田産業経済局長とハイフォン市のフォン商工局長によって「両市企業の相互交流促進に関する覚書」の調印が行われ、本事業終了後も両市企業の相互交流が継続されることとなりました。

今後はさらに親密で、幅広い分野での両市間の交流が期待されます。



「企業の相互交流促進に関する覚書」の調印式
左が北九州市 西田産業経済局長
右がハイフォン市 フォン商工局長

第2回技術交流会参加企業、通訳、交流会事務局の皆様
ありがとうございました！

5. JICA草の根事業近況報告（総括）

技術協力部長 麻原 伴治

2008年4月の北九州市とベトナム国ハイフォン市の友好協力協定締結を機に始まったハイフォン市製造業の生産性向上を目的としたプロジェクトも足掛け5年目となり、あと数か月で終了しようとしています。

当初は企業が抱えている課題を聴取・診断し適切な助言を行うことを目指しましたが、年4回程度、1回あたり4～5日の訪問・指導では限界があること、新しく起業した企業はまだ経営力のレベルが低いことから、基本となる5Sを中心に指導してきました。

もう一つの活動として、大学の中に生産管理の講座を根付かせることを目標にその核となる先生を日本に招聘して、基本的な知識の習得と企業訪問を通して実践の現場を体験してもらうことを実行してきました。

また、企業PRの場の実践例として北九州企業出展の技術展示会兼商談会を年1回、累計で2回実施してきました。具体的な商談に結びついた例もいくつかでております。

以上のように、短期間で我々のやれたことはわずかですが、確実に種まきは出来たと確信しています。この5年間、市内の企業の皆様・大学職員・企業OB・北九州マイスターなど多くの方々のサポートのもと、プロジェクトを進めていくことができました。関係各位に深く感謝申し上げます。

以上